

小学校社会科教育 理論研修会 終了報告

テーマ	追及を通して、主体的に社会とかかわる力を育む社会科学学習の創造		
日時	令和6年7月5日(金)		
会場	北広島市ふれあい学習センター 夢プラザ		
講師	前田 賢次 氏 (北海道教育大学札幌校 准教授)		
参加者	19名		
研修会 の 様子		5年ぶりに対面形式での開催となった。石社研の主題に即し、「地域を学び、地域で学ぶ」を大きなテーマとして話題を提供してくださった。まずは、石狩油田について、最近のニュースや石狩市が提供しているアーカイブ資料等を使いながら、地域素材やその活用方法について話してくださった。 日々の授業にすぐに活用できる情報が満載であり、参加者も熱心にメモを取っていた。	
		授業構成や授業づくりにかかわる話題では、 ・子どもの思考プロセスを意識するため、実際に教員が教材や資料をつくってみること ・その中で教員自身が感じる「なぜ?」「どうして?」「考えてみたら不思議だ…」と思うところに、子どもの思考を揺さぶるヒントがあること ・地域に合わせた教材で学ぶことの重要性 等のお話をいただいた。	
		社会参画にかかわる話題では、 ・地域の住民から学ぶ「地域にねぞす教育」の在り方 ・地域にいるロールモデル(地域産業や工芸で成功した事例)に目を向ける必要性 ・地域産業の継承の難しさやジレンマを考えていくことの重要性等のお話をいただいた。	
		最後は参加者で小グループをつくり、本講演会で学んだことやこれからの授業づくりに生かしたいこと等を交流した。 また、今後の授業づくりに向けて前田氏に質問したり、参加者同士で日頃の授業での疑問等を話したり、話題が尽きないほど盛り上がっていた。 参加者にとって、大変有意義な講演会となった。	